

「生成AI」を組織で活用し、行政サービスの高度化を目指します

- 本市では民間事業者が提供しているチャット型生成AIを導入済。職員が個人作業の範囲で活用し、一定の効果。
- 今後、「誰もがデジタルの利便性を実感できる「ひと」が中心のデジタル変革」を目指す一環として、組織での生成AIの実践的な活用（業務シーンでの職員支援など）に向け、民間事業者と連携し、本市の固有情報（*）の利用を含めた有用な活用方法を検討していきます。

*:市民の個人情報や機密性の高い情報は除く

これまでの取組と今後の予定

✓	令和5年12月	札幌市生成AIガイドライン群を制定
✓	令和6年3月	全職員が使用できるチャット型生成AI環境を整備
✓	令和6年6月～	職員に向け入門研修・基礎研修を実施
	令和7年3月 (今回)	生成AI技術活用に向けた情報提供依頼（RFI）の実施
	令和7年6月 (予定)	庁内連携し、生成AIを活用した実証（事業者から提案を募集）
	令和7年度下期 (予定)	有用性が認められた事業は、庁内で本格導入

個人の作業領域で活用（現在）



組織での活用（目指す活用法）

